

6. 2. 口頭発表

本節には、気象研究所の職員が、平成 22 年度に筆頭者として行った講演・口頭発表などを掲載した。発表の情報は、タイトル、研究集会、発表年月、発表会場（都市名）の順で掲載した。

- | | |
|------|--|
| 青木重樹 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本全域における初動発震機構解とモーメントテンソル解の比較, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉. ・ Complicated fault geometries of shallow destructive inland earthquakes with high aftershock activity — the Mid Niigata Earthquake in 2004 and the Mikawa Earthquake in 1945 —, 8th Joint Meeting of UJNR Panel on Earthquake Research, 2010 年 10 月, 長岡. ・ 断層破壊過程の即時的把握にむけて—2003 年十勝沖地震への改良 Source-Scanning Algorithm の適用—, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島. ・ 断層破壊の即時的イメージングにむけて—規格化短周期波形エンベロープを用いたアプローチ—, 東海地震の予知手法等に関する勉強会 (第 5 回), 2010 年 12 月, 東京. |
| 青木輝夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 積雪アルベド物理モデルによる積雪内部の短波放射吸収量の計算精度, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京. ・ 札幌における放射収支・積雪断面観測データによる積雪アルベド物理モデルの検証, 日本地球惑星科学連合 2010 年度合同大会, 2010 年 5 月, 千葉. ・ Physically based snow albedo model for the use in GCM, Impurities in Snow and Ice (ISI) Workshop, 2010 年 6 月, アメリカ, シルバートン. ・ Snow albedo algorithm using physically based snow albedo model, 38th Scientific Assembly of the Committee on Space Research (COSPAR), 2010 年 7 月, ドイツ, ブレーメン. ・ Physically based snow albedo model for multilayer snow using multi sub-spectral-band to use in GCM, The third Asia-Pacific Radiation Symposium (APRS) 2010, 2010 年 8 月, 韓国, ソウル. ・ Discussion on snow physical parameters and albedo using physically based snow albedo model, Workshop on SGLI Cryosphere Algorithm Developments, 2010 年 9 月, アメリカ, ホーボーケン. ・ 積雪アルベド物理モデルを用いて衛星データから積雪アルベドを抽出するアルゴリズム, 雪氷研究大会 (2010・仙台), 2010 年 9 月, 仙台. ・ 積雪のアルベド低下をもたらす原因について, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都. ・ 極域におけるブラックカーボン濃度とアルベドへの影響, 大気・雪氷間の物質循環と南極への物質輸送に関する研究小集会, 2010 年 12 月, 立川. ・ Snow parameter retrievals using two-snow-layer model, Joint PI WorkShop of Global Environmental Observation Mission, 2010 年 12 月, 東京. ・ Polar region and the earth's radiation budget, Joint PI WorkShop of Global Environmental Observation Mission, 2010 年 12 月, 東京. ・ 様々な要因によるアルベド変動が近年の北極域における雪氷融解に与える効果, 研究集会「北極環境研究の課題と展望」, 2011 年 1 月, 立川. |
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Displaced Ensemble を用いた WMI TB の変分法的同化法: 台風 200404 への適用結果, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京. ・ 非球形固体降水粒子のマイクロ波特性の導入による GSMaP 前方計算法の改良, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京. ・ Adaptive Localization を使った、Ensemble に基づく 4 次元変分法の開発 (その 1), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都. |

- ・新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリバルアルゴリズムの開発（その1），日本気象学会 2010 年度秋季大会，2010 年 10 月，京都。
- 青柳 曉典
 - ・ Single-layer urban canopy scheme for the mesoscale model of JMA(NHM) —As an adaptation planning tool for the future urbanization—, International workshop on urban climate projection for better adaptation planning, 2010 年 6 月，つくば。
 - ・土地利用変化による夏季関東域の気候変化に関する数値シミュレーション，日本気象学会 2010 年度秋季大会，2010 年 10 月，京都。
 - ・ A simulation of climatic change induced by land use modification from 1976 to 2006 on summer over Tokyo Metropolitan area, Japan, 23rd Conference on Climate Variability and Change, アメリカ，シアトル。
 - ・土地利用変化に伴う都市域地上気温の上昇に関する数値シミュレーション，日本ヒートアイランド学会第 5 回全国大会，2010 年 7 月，神戸。
- 青山 道夫
 - ・ THE JOINT IOC-ICES STUDY GROUP ON NUTRIENT STANDARDS (SGONS), 43rd Session of IOC Executive Council, 2010 年 6 月，フランス，パリ。
 - ・日本における液体シンチレーションカウンタによる測定の現状と改善点：国内アンケートの結果からみえるもの，第 47 回アイソトープ・放射線研究発表会，2010 年 7 月，東京。
 - ・国際栄養塩スケールと海水中栄養塩標準を使った二つの航海における比較可能性の向上，日本分析化学会第 59 年会，2010 年 9 月，仙台。
 - ・気候変動モニタリングと計量標準，平成 22 年度第 1 回国際計量研究連絡委員会，2010 年 10 月，東京。
 - ・モデル計算による人工放射性物質の局地的な降下物再現計算のためのデータセット作成，日本放射線影響学会第 53 回大会，2010 年 10 月，京都。
 - ・ The new era of nutrients measurements in seawater with RM/CRM and the new manual: The joint IOC-ICES study Group on Nutrient Standards (SGONS) and recent progress (Invited talk), North Pacific marine Science Organization 2010 annual meeting, 2010 年 10 月，アメリカ，ポートランド。
 - ・海水中栄養塩の長期変動の研究：比較可能性が確保された全球栄養塩データセットの作成とその解析，ブルーアース'11，2011 年 3 月，東京。
 - ・海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究太平洋における ^{137}Cs の 3 次元分布とモデル計算結果，ブルーアース'11，2011 年 3 月，東京。
 - ・太平洋における ^{137}Cs の 3 次元分布とモデル計算結果との比較，第 12 回「環境放射能」研究会，2011 年 3 月，つくば。
 - ・ Inter and intra basin scale transport of ^{137}Cs in the Pacific Ocean, International Symposium on Isotopes in Hydrology, Marine Ecosystems, and Climate Change Studies, 2011 年 3 月，モナコ。
- 足立 アホロ
 - ・レーダーシミュレーターによる偏波パラメタ計算結果のレーダー観測への応用，日本気象学会 2010 年度秋季大会，2010 年 10 月，京都。
- 安藤 忍
 - ・ SAR 干渉画像で見た全国の活火山（3），日本地球惑星科学連合 2010 年大会，2010 年 5 月，千葉。
 - ・だいち/PALSAR により検出された樽前山ドームの隆起，日本地球惑星科学連合 2010 年大会，2010 年 5 月，千葉。
 - ・ The Crustal Deformation and Damage area Caused by the M7.0 Earthquake in Haiti detected by ALOS/PALSAR, The 8th International Workshop on Remote Sensing for Disaster Management, 2010 年 10 月，東京。
 - ・陸域観測技術衛星「ALOS/だいち」から見る地殻変動 —干渉 SAR 技術を使った火山地殻変動の検出—，平成 22 年度気象庁施設等機関研究報告会，2011 年 2 月，東京。
- 五十嵐 康人
 - ・モンゴル表土中の人工放射性核種と降水量との関係から推定した黄砂発生地域の変動，日本気象学会 2010 年度春季大会，2010 年 5 月，東京。
 - ・ Anthropogenic radionuclides in fine wind-erodible fraction of Mongolian surface soil,

第 27 回エアロゾル科学・技術検討討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.

- ・ Implication from Relationship between Anthropogenic Radionuclides in Mongolian Surface Soil and Precipitation Rates, International Symposium on Asian Dust/Aerosol and its Impact on Global Climate Change, 2010 年 8 月, 中国, 上海.
- ・ 放射性降下物の長期変動と再浮遊に関する研究, 第 52 回環境放射能調査研究成果発表会, 2010 年 12 月, 東京.
- ・ 榛名山とつくばにおける人工放射能の降下量, 第 12 回「環境放射能」研究会, 2011 年 3 月, つくば.
- 石井雅男
 - ・ Air-Sea CO₂ flux and CO₂ storage in the equatorial and North Pacific ocean, Workshop “Regional Carbon Cycle Assessment on land and oceans”, 2010 年 10 月, イタリア, ビテルボ.
 - ・ Second-level quality control of PACIFICA synthesized database, 北太平洋海洋科学機関(PICES)2010 年次総会 ワークショップ 二酸化炭素データ統合(III), 2010 年 10 月, アメリカ, ポートランド.
 - ・ 海洋炭素循環研究における Argo の活用可能性について, 第 2 回アルゴ将来構想検討会, 2010 年 11 月, 柏.
- 石井正好
 - ・ Assimilated and predicted thermosteric sea level changes in near-term global warming prediction experiments, IPCC Workshop on Sea Level Rise and Ice Sheet Instabilities, 2010 年 6 月, マレーシア, クアラルンプール.
 - ・ Reevaluation of historical ocean heat content variations with time-varying XBT and MBT depth bias corrections, XBT Bias and Fall Rate Workshop, 2010 年 8 月, ドイツ, ハンブルク.
 - ・ (堀内賞受賞記念講演) 歴史的海洋表層解析データセットの作成およびそれを用いた気候変動の監視と予測への貢献, 気象学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 石橋俊之
 - ・ 誤差共分散行列の最適化と観測データのインパクト評価について, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 非晴天域の衛星輝度温度データの直接同化, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 石原幸司
 - ・ 感度ベクトルによるデータ同化, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 地球温暖化と異常気象, 金沢エコ推進事業者ネットワーク第 52 回全体会, 2010 年 4 月, 金沢.
 - ・ 学校における地球温暖化学習についての提案, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 地域頻度解析を用いた確率降水量変化の不確実性評価, 水文・水資源学会 2010 年度総会・研究発表会, 2010 年 9 月, 東京.
 - ・ 気象分野における気温変動解析法と日本の気温変化について, 地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(C型)「地球温暖化がもたらす日本沿岸域の水質変化とその適応策に関する研究」全体会合, 2010 年 9 月, 名古屋.
 - ・ Comparison of GHCN temperature data with JMA data at 17 climatological stations in Japan, Workshop on Land-surface temperature data sets for the 21st Century, 2010 年 9 月, イギリス, エクセター.
 - ・ Assessment for the 30-Year Daily Precipitation Change due to Global Warming Using Regional Frequency Analysis, WCRP/UNESCO Workshop on metrics and methodologies of estimation of extreme climate events, 2010 年 9 月, フランス, パリ.
 - ・ 高解像度全球大気モデルによる確率降水量の将来変化, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 日本の気候監視地点における気象庁データと GHCN データとの比較, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Quantifying the uncertainty range of regional temperature change due to global

- warming using its normality, AGU Fall Meeting 2010, 2010年12月, アメリカ, サンフランシスコ
- 石原正仁
- ・ 3次元レーダーデータから見たある日の積乱雲の統計的局面, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 気象庁における降水観測の発展と最新観測システムの成果, 第 16 回日本気象学会中部支部公開気象講座「集中豪雨」, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ The operation of 1.3GHz wind profiler network WINDAS and its contribution to weather forecast in the Japan Meteorological Agency, International symposium on the 25th anniversary of the MU radar, Kyoto Japan. 2010 年 9 月, 京都.
 - ・ The Weather observation Network of the Japan Meteorological Agency, Workshop on the Optimal Dual Polarimetric Radar Network in Korea Meteorological Agency, 2010 年 12 月, 韓国, ソウル.
- 石元裕史
- ・ 気象観測鉄塔を振り返る, 平成 22 年度気象研究所研究成果発表会, 2011 年 3 月, つくば.
 - ・ Voronoi aggregates for a shape model of mineral dust particles, The third Asia-Pacific Radiation Symposium (APRS) 2010, 2010 年 8 月, 韓国, ソウル
 - ・ Poisson Voronoi 構造と粒子画像情報を用いた鉱物・氷床粒子形状のモデル化, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 降雪粒子のモデリング, 第 9 回降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究, 2011 年 2 月, 長岡.
- 猪上華子
- ・ 庄内平野で観測されたマイクロスケールの渦の立体構造と発達過程, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 岩切一宏
- ・ 緊急地震速報の震度予測における断層最短距離の影響, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 関東地方の 500m 以深の深井戸における強震観測データを緊急地震速報へ利用する場合の効果, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 最大速度の距離減衰式に基づく経験的なサイト増幅特性を用いた緊急地震速報の震度予測の精度向上, 第 13 回日本地震工学シンポジウム, 2010 年 11 月, つくば.
 - ・ 距離減衰式に基づく経験的なサイト増幅特性を用いた緊急地震速報の震度予測の精度向上, 東京大学地震研究所研究集会「揺れる直前の地震動予測:さらなる迅速化と精度の向上」, 2010 年 12 月, 東京.
- 上清直隆
- ・ ハイパースペクトル赤外サウンダの主成分の汎用性について, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 碓氷典久
- ・ 非ガウス統計を考慮した変分法同化システムの改良, 第 4 回気象研究所・統計数理研究所共同ワークショップ, 2010 年 4 月, 立川.
 - ・ 非ガウス統計を考慮した拘束条件による MOVE/MRI.COM の改良, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Decay mechanism of the 2004/05 Kuroshio large meander revealed by MOVE/MRI.COM, Workshop on Ocean Modeling in the Regional Marine Systems, 2010 年 7 月, 東京.
 - ・ Fundamental Data Assimilation, Workshop on JMA Global Wave and Ocean Circulation. Malaysian Meteorological Department, 2010 年 9 月, マレーシア, クアラルンプール.
 - ・ Decay mechanism of the 2004/05 Kuroshio large meander revealed by MOVE/MRI.COM, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 内山明博
- ・ 黒潮大蛇行の消滅機構, 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月.
 - ・ 航空機を用いた検証観測, 第 5 回地球観測衛星研究連絡会「衛星リモートセンシングにおける地上/航空機観測の役割」, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Development of correction method for integrating nephelometer, The 3rd Asia Pacific Radiation Symposium (APRS), 2010 年 8 月, 韓国, ソウル.

- ・ Development of correction method for integrating nephelometer and recent trend of aerosol optical properties based on ground-based measurement at Tsukuba, The 16th CERES International Symposium on Climate Change Studies through Activities of SKYNET and Virtual Laboratory for Climate Diagnostics, 2010 年 10 月, 名護.
- ・ 気象研究所における放射観測に関する取り組み, 地球温暖化観測推進事務局「放射観測機器の校正に関する専門家会合」, 2010 年 12 月, つくば.
- 遠藤洋和
 - ・ Tropical Intra-seasonal Variability in a 20-km mesh MRI/JMA AGCM incorporating a New Convective Scheme, Monsoon Intraseasonal Variability Modelling Workshop, 2010 年 6 月, 韓国, 釜山.
 - ・ Tropical intraseasonal variability in a 20-km mesh MRI/JMA AGCM incorporating a new convective scheme, 23rd Conference on Climate Variability and Change, 2011 年 1 月, アメリカ, シアトル.
 - ・ CMIP3 マルチモデルにおけるヤマセに関連した大規模循環場の再現性と将来変化, 第 1 回ヤマセ研究集会, 2010 年 9 月, 仙台.
 - ・ CMIP3 マルチモデルにおけるヤマセに関連した大規模循環場の再現性と将来変化(その 2), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ CMIP3 マルチ気候モデルにおける夏季東アジアのトレンド, 第 2 回ヤマセ研究集会, 2011 年 3 月, 盛岡.
- 大島 長
 - ・ 東シナ海・黄海上の自由対流圏中で観測されたブラックカーボンの上方輸送過程, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Vertical transport mechanisms of black carbon over east Asia in spring observed during the A-FORCE aircraft campaign, Japan Geoscience Union Meeting 2010 (International Session), 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 自由対流圏中で観測されたブラックカーボンの降水による除去過程, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 春季東アジア域で航空機により観測されたブラックカーボンの上方輸送過程, 第 16 回大気化学討論会, 2010 年 11 月, 八王子.
 - ・ Aircraft Measurements of Upward Transport of Black Carbon Over East Asia in Spring 2009, AGU fall meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Vertical transport of black carbon over East Asia in spring during the A-FORCE aircraft campaign, Invited seminar at North Carolina State University, 2011 年 2 月, アメリカ, ローリー.
- 大竹和生
 - ・ 気象庁南西諸島観測点への方位推定精度向上策の適用, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 気象庁における地震業務処理技術研修の報告, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 気象庁の緊急地震速報への O B S データの導入にかかわる改良, 第 13 回日本地震工学シンポジウム, 2010 年 11 月, つくば.
 - ・ 緊急地震速報における島しょ部等の精度向上にかかわる試み, 東京大学地震研究所研究集会「揺れる直前の地震動予測:さらなる迅速化と精度の向上」, 2010 年 12 月, 東京.
- 岡本幸三
 - ・ Recent development of satellite data assimilation at JMA, 17th international ATOVS Study Conference, 2010 年 4 月, アメリカ, モントレー.
 - ・ 雲・降水域の衛星輝度温度データの同化に向けて, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 尾瀬智昭
 - ・ 夏季における ENSO-降水量相関と CMIP3 モデルの温暖化予測, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 温暖化時降水量変化予測の不確定性と海面水温変化分布, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ An Improved 20-km AGCM for global warming prediction, AGU Fall Meeting 2010,

- 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 鬼澤真也
- ・伊豆大島火山における地殻変動観測, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・霧島火山新燃岳・御鉢における重力探査, 日本火山学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 小畑 淳
- ・大気メタン急激増加に対する気候炭素循環モデルの応答—各種感度実験—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・気候変動に及ぼす炭素循環の影響—将来百年予測について, 第 8 回環境研究シンポジウム, 2010 年 11 月, 東京.
- 折笠成宏
- ・ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化 (その 3), 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・An observational study of changes in cloud microphysical properties through glaciogenic seeding by dry ice during the Japanese orographic snow cloud modification projects, AMS 13th Conference on Cloud Physics, 2010 年 6 月, アメリカ, ポートランド.
 - ・ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化 (その 4), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・An observational study of changes in cloud microphysical properties through glaciogenic seeding by dry ice during the Japanese orographic snow cloud modification projects, International Symposium on Weather Modification —Recent Progress in Precipitation Enhancement Research—, 2011 年 3 月, つくば.
- 梶野瑞王
- ・Modeling study on LTP in northeast Asia: Japan, The 12th Expert Meeting for Long-range Transboundary Air Pollutants in Northeast Asia, 2010 年 11 月, 珠海.
- 勝間田明男
- ・三次元不均質構造における震源計算の高速化 (3), 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・原子時計式海底地震計の可能性 (2), 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・長基線レーザー伸縮計の地震応答, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・中国地方の最上部マントル内不連続面の謎, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉市.
 - ・震源計算のための三次元速度構造 (2), 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
- 蒲地政文
- ・Ocean Observation, CIMPA UNESCO Thematic School Data assimilation for Geophysical Fluids, 2010 年 5 月, 中国, 武漢.
 - ・Application of Ocean Data Assimilation, CIMPA UNESCO Thematic School Data assimilation for Geophysical Fluids, 2010 年 5 月, 中国, 武漢.
 - ・JSPS Japan-China Cooperative Research Plan: Development of Optimum Data-Model Synthesis System in the East Asian Peripheral Sea in the Pacific Ocean with Application of Convex Analysis, Seminar in the Institute of Atmospheric Physics, 2010 年 6 月, 中国, 北京.
 - ・Nonlinear constraints and their impacts in MOVE 3DVAR system, Seminar in the Institute of Atmospheric Physics, 2010 年 6 月, 中国, 北京.
 - ・Experimental design in the reconstruction of observed vertical temperature profiles in the east of Japan as an example of convex analysis, Seminar in the Institute of Atmospheric Physics, 2010 年 6 月, 中国, 北京.
 - ・データ同化に関する国内外の動向, 第 14 回データ同化夏の学校, 2010 年 8 月, むつ.
 - ・Ocean Data Assimilation and Prediction Experiments in JMA and MRI, Workshop on JMA Global Wave and Ocean Circulation. Malaysian Meteorological Department,

2010 年 9 月, マレーシア, クアラルンプール.

- ・ Note on Implementation of MOVE System, Workshop on JMA Global Wave and Ocean Circulation. Malaysian Meteorological Department, 2010 年 9 月, マレーシア, クアラルンプール.
- ・ National Forecasting System (MOVE/MRI.COM) and Japan Working Team - Progress in 2009-2010 -, International GODAE Ocean View Science Steering Team Meeting, 2010 年 10 月, 東京.
- ・ Center Report: Japan Meteorological Agency, JCOMM Expert Team of Operational Ocean Forecasting System Meeting, 2010 年 10 月, 東京.
- ・ Strategy and issues to be addressed in the sea-ice assimilation, International Workshop on “Development of atmosphere-ocean coupled models towards improvement of long range forecast”, 2010 年 12 月, 東京.
- ・ Impacts and issues to be addressed in the sea-ice assimilation, Seminar in the Institute of Atmospheric Physics, Beijing, 2011 年 3 月, 中国, 北京.
- 釜堀弘隆
 - ・ 再解析プロダクトにおける降水量の品質, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ AMY 再解析, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ AMY Reanalysis, AMY Data Workshop, 2010 年 6 月, 東京.
 - ・ 再解析プロダクトにおける降水量の品質 (その 2), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 上口賢治
 - ・ 台風場の降水量分布, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ APHRO_JP_EX を用いた、日本の極端降水の経年変動解析, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 気候研究のための長期日降水グリッドデータの作成, 平成 22 年度気象研究所研究成果発表会, 2011 年 3 月, つくば.
- 川合秀明
 - ・ 海上下層雲のパラメタリゼーション及び海上下層雲と高気圧の関係, 第 2 回ヤマセ研究集会, 2011 年 3 月, 盛岡.
- 川畑拓矢
 - ・ GPS による水蒸気情報同化手法の高度化, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 気象庁メソ解析を用いた伊勢湾台風再予報, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Assimilation experiment on Zoshigaya local heavy rainfall event, First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models, 2010 年 9 月, 京都.
- 北畠尚子
 - ・ JRA-25 における温帯低気圧化台風に対するボーガスの影響, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 北西太平洋における台風の温帯低気圧化の気候学的特徴, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 北村祐二
 - ・ 安定成層下での MYNN モデルの修正について, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Modifications to the Mellor-Yamada-Nakanishi-Niino (MYNN) model for the stable stratification case, First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models, 2010 年 9 月, 京都.
- 鬼頭昭雄
 - ・ Toward seasonal climate forecasting and climate projections in future, The Sixth Session of the Forum on Regional Climate Monitoring, Assessment and Prediction for Asia (FORCRAII), 2010 年 4 月, 中国, 北京.
 - ・ Extreme climate events in monsoon regions and their future changes simulated by using high-resolution atmospheric models, 2010 Western Pacific Geophysics Meeting, 2010 年 6 月, 台湾, 台北.
 - ・ 地球温暖化の科学, 気象講演会「温暖化する地球～最新の研究成果と私たちにできること

～」, 2010 年 7 月, 東京.

- ・ モンスーンモデリングの現状と今後, アジEMONsoonサイエンスワークショップ, 2010 年 8 月, 東京.
 - ・ 気候変動に伴う極端気象現象の将来変化, 第 16 回日本気象学会中部支部公開気象講座「集中豪雨」, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ CMIP5 実験と IPCC AR5, 水文・水資源学会 2010 年度研究発表会, 2010 年 9 月, 東京.
 - ・ Variability of ENSO-monsoon relationship, PAGES 2nd Global Monsoon Symposium, 2010 年 9 月, 中国, 上海.
 - ・ Extreme climate events in monsoon regions and their future changes simulated by high-resolution atmospheric models, 2010 Seoul International Symposium on Climate Change, 2010 年 10 月, 韓国, ソウル.
 - ・ Climate modeling activity in the MRI, 26th Session of the CAS/JSC Working Group on Numerical Experimentation (WGNE-26), 2010 年 10 月, 東京.
 - ・ An overview of the KAKUSHIN Team-3 "Projection of the change in future weather extremes using super-high-resolution atmospheric modes", 2010 International Workshop of TCCIP Project on Climate Change, 2010 年 11 月, 台湾, 台北.
 - ・ 気候変動予測に関する国際的動向, 第 3 回エコファーマシンポジウム, 2010 年 11 月, 熊本.
 - ・ PMIP3 Simulations at MRI, PMIP3 Kyoto Workshop, 2010 年 12 月, 京都.
 - ・ Wetter subtropics and Hadley/Walker circulation in Mid-Pliocene simulated by an atmospheric general circulation model, PMIP3 Kyoto Workshop, 2010 年 12 月, 京都.
 - ・ 気候変動に伴う極端気象現象の将来変化, 河川環境管理財団研究発表会, 2010 年 12 月, 大阪.
 - ・ Historical changes and future projections of precipitation and its extremes in the 20th and 21st century simulation by a 60-km mesh global, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Recent development of the climate change projections by MRI AGCM-20km, JSPS International Forum "Climate Changes in Monsoon Asia", 2011 年 1 月, タイ, バンコク.
- 木村一洋
- ・ 歪計による短期的スロースリップイベントの自動検出, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Short-term Slow Slip Events Detected by the Strainmeters in the Tokai Region, 8th Joint Meeting of UJNR Panel on Earthquake Research, 2010 年 10 月, 長岡.
- 楠 研一
- ・ 小型ドップラー気象レーダーを用いた突風探知システムの開発へ向けて—探知手法開発における問題点と今後の取り組み—, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 庄内平野に直進性の突風をもたらした気象じょう乱, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 庄内平野で観測された突風と気象じょう乱—2009～10 年冬季—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 2009 年 12 月 12 日に庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 楠 昌司
- ・ Change in the Precipitation Intensity of East Asia Summer Monsoon Projected by 20-km and 60-km Mesh Atmospheric Global Model, Asia Oceania Geosciences Society 2010 (AOGS2010), 2010 年 7 月, インド, ハイデラバード.
 - ・ Global Warming Projection Activity at Meteorological Research Institute (MRI), JICA Seminar "Adaptation to Climate Change", 2010 年 10 月, つくば.
 - ・ 気象研 20km 大気モデルによる地球温暖化時の温帯低気圧の変化, 爆弾低気圧活動の変動と災害に関するワークショップ, 2010 年 11 月, 富山.

- ・ Climate of the 20th and 21st century simulations by a global atmospheric model, Second International Symposium on the Arctic Research(ISAR-2), 2010年12月, 東京.
- ・ Climate of the 20th and 21st century simulations by a 60-km mesh global atmospheric model, 91th Annual Meeting of American Meteorological Society, 2011年1月, アメリカ, シアトル.
- ・ Climate change projection by 20-km mesh global atmospheric model, the third International Seminar on Impact of Climate Change on Irrigation Systems, 2011年2月, タイ, バンコク.
- ・ ブラジルの気候変動と将来予測, 第一回日伯フォーラム「気候・社会変動とブラジル」, 2011年2月, 東京.
- 朽木勝幸
 - ・ 衛星と地上放射計それぞれから抽出された積雪物理量の比較, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 積雪不純物濃度の測定に及ぼす誤差要因の検討—濾過フィルターと炭酸塩炭素の影響—, 雪氷研究大会 (2010・仙台), 2010 年 9 月, 仙台.
 - ・ 全天分光日射計による積雪中黒色炭素・ダスト濃度の推定, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 工藤 玲
 - ・ Influences of aerosol optical thickness and single scattering albedo on global dimming and brightening, The 3rd Asia Pacific Radiation Symposium, 2010 年 8 月, 韓国, ソウル.
 - ・ つくばにおけるエアロゾル光学特性の長期変動と地上日射への影響, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Impacts of aerosol optical thickness and single scattering albedo on the dimming and brightening in Japan, The 16th CEReS International Symposium on Climate Change Studies through activities of SKYNET and Virtual Laboratory for Climate Diagnostics, 2010 年 10 月, 名護.
- 栗田 進
 - ・ 新しい都市境界層の考え方—都市スケールと街区スケールを結び付けるもの—, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- 栗原和夫
 - ・ 非力学地域気候モデル (MRI-NHRCM) の完全境界実験による精度評価—九州領域および関西領域—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測をめざして, 平成 22 年度気象庁施設等機関研究報告会, 2011 年 2 月, 東京.
- 黒田友二
 - ・ Influence of the solar cycle and QBO modulation on the Southern Annular Mode, SCOSTEP Symposium STP12, 2010 年 7 月, ドイツ, ベルリン.
 - ・ 「成層圏—対流圏力学結合」, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Predictability of the stratospheric sudden warming and its impact on the tropospheric climate in January 2009 —comparison with the warming of 2004 and 2006—, DynVar symposium, 2010 年 11 月, アメリカ, ボルダー.
 - ・ Predictability of the stratospheric sudden warming and its impact on the tropospheric climate in January 2009 —comparison with the warming of 2004 and 2006—, AGU Fall meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Predictability change of tropospheric NAM variability with the stratospheric sudden warming, University of Oxford, 2011 年 2 月, イギリス, オックスフォード.
- 小杉如央
 - ・ 東経 137 度線における大気—海洋間二酸化炭素分圧差の十年規模変動, 第 16 回大気化学討論会, 2010 年 11 月, 八王子.
 - ・ 気象庁 WHP-P9 再観測 (6) —pH の観測結果と西部北太平洋における海洋酸性化, 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月
- 小林昭夫
 - ・ 水準測量と潮位記録から推定される過去の豊後水道長期的スロースリップ, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
- 小林隆久
 - ・ Development of a radar simulator for space-borne and polarimetric radar, 6th

- European Conference on radar in meteorology and hydrology, 2010 年 9 月, ルーマニア, シビウ.
- ・ 雲・降水レーダーシミュレーターの開発-2-, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 衛星搭載レーダーの多重散乱シミュレーション, 日本リモートセンシング学会第 49 回学術講演会, 2010 年 11 月, 鹿児島.
- 小林ちあき
- ・ マルチ気候モデル実験における北半球夏のジェットと成層圏オゾンとの関係, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 財前祐二
- ・ 不揮発性エアロゾルの内部混合比率と揮発性シェルの厚さについて-つくばでの夏と冬の違い, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Features of aerosol particles collected at Shin-Hodaka ropeway station, 第 27 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ 2010 年 3 月の黄砂とそのプレイベント時に採取されたエアロゾル粒子の特徴, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Elemental composition of Asian aerosols observed at a mountain site over central Japan, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 齋藤篤思
- ・ 航空機搭載用氷晶核測定装置による観測, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ A New Continuous Flow Diffusion Chamber for Airborne Measurement of Natural Ice Nuclei over Japan, AMS 13th Conference on Cloud Physics, 2010 年 6 月, アメリカ, ポートランド.
 - ・ ダム集水域における固形降水の精確な計量 (その 3), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ ダム集水域における固形降水の精確な計量, 気象庁観測部談話会, 2010 年 12 月, 東京.
 - ・ A New Continuous Flow Diffusion Chamber for Airborne Measurement of Ice Nuclei over Japan, International Symposium on Weather Modification - Recent Progress in Precipitation Enhancement Research -, 2011 年 3 月, つくば.
- 齊藤和雄
- ・ WWRP 北京 2008RDP におけるメソアンサンブル予報摂動手法の比較. 第 4 回気象研究所・統計数理研究所共同ワークショップ. 2010 年 4 月, 立川.
 - ・ メソアンサンブル予報と次世代スパコン戦略プログラム, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Application of the JMA Nonhydrostatic Model to the Tropics -- International Research for Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia --, AOGS2010, 2010 年 7 月, インド, ハイデラバード.
 - ・ Study for Prediction of Local Heavy Rainfall and the Next Generation Super Computer Program, AOGS2010, 2010 年 7 月, インド, ハイデラバード.
 - ・ Challenges of MRI for NWP in tropical Asia. Japan-Indonesia Workshop on "Developing climate-change prepared and resilient society -- from weather and climate information to decision making", International workshop on "Developing climate-change prepared and resilient society from weather and climate information to decision making", 2010 年 7 月, インドネシア, ジャカルタ.
 - ・ Studies at MRI (Meteorological Research Institute) toward the cloud resolving NWP. Cooperative Institute for Research in the Atmosphere Seminar, Colorado State University, 2010 年 8 月, アメリカ, フォートコリンズ.
 - ・ Current studies and future plan on the cloud resolving NWP at MRI/JMA, The 3rd International Workshop on Next-Generation NWP models, 韓国, 西帰浦.
 - ・ Study at MRI toward the mesoscale NWP for disaster prevention, First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models, 2010 年 9 月, 京都.
 - ・ 集中豪雨を予測する, 第 4 回次世代スパコンについて知る集い, 2010 年 10 月, 神戸.

- ・ 2008年8月5日首都圏局地的大雨の雲解像アンサンブル実験(序報), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ Effect of lateral boundary perturbations on the breeding method and the local ensemble transform Kalman filter for the mesoscale ensemble prediction system for B08RDP. Joint SRNWP Workshop on DA and EPS, 2011 年 2 月, イタリア, ボローニャ.
- 酒井 哲 ・ Aerosol characterization with dual-wavelength and polarization lidar during Japanese Cloud Seeding experiment, 25th International Laser Radar Conference, 2010 年 7 月, ロシア, サンクトペテルブルグ.
- ・ Backscattering linear depolarization ratio measurement of mineral dust, sea salt, and ammonium sulfate particles generated in a laboratory chamber, 25th International Laser Radar Conference, 2010 年 7 月, ロシア, サンクトペテルブルグ.
- ・ 夏季人工降雨実験における 2 波長・偏光ライダー観測: エアロゾルキャラクタリゼーションと航空機観測による検証, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ 偏光ライダーと直接サンプリングによる黄砂観測—液滴状の鉱物粒子—, 第 16 回大気化学討論会, 2010 年 11 月, 八王子.
- ・ 2 波長・偏光ライダー観測によるエアロゾルキャラクタリゼーション 夏季人工降雨実験/航空機観測による検証, 第 36 回リモートセンシングシンポジウム, 2010 年 11 月, 横須賀.
- ・ Microphysical and optical properties of Asian dust and cirrus cloud as measured with balloon-borne instruments and ground-based Raman lidar over Tsukuba, Japan, 2011 Aerosol update, 2011 年 3 月, アメリカ, グリーンベルト.
- 坂見智法 ・ Retrieval methods of microphysical and optical properties of cloud vertical profiles from radiances measured by ground-based observations at a specific point, The 16th CERE International Symposium, 2010 年 10 月, 名護.
- 坂本 圭 ・ MRI.COM ネスト・モデルへの潮汐の導入, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
- ・ MRI.COM ネスト・モデルへの潮汐の導入(II), 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月.
- 佐々木秀孝 ・ Numerical experiments of reproducing the present climate around Japan using NHRCM, Workshop of the third regional model intercomparison project, 2011 年 2 月, オーストラリア, メルボルン.
- 笹野大輔 ・ 東経 165 度線における溶存酸素の長期トレンド, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
- ・ 南大洋における $p\text{CO}_2$ および $p\text{O}_2$ の関係性, 第一回極域科学シンポジウム, 2010 年 12 月, 立川.
- ・ 南大洋における $p\text{CO}_2$ と $p\text{O}_2$ の関連性, 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月.
- 澤 庸介 ・ 民間航空機で観測された上部対流圏・下部成層圏の CO_2 の広域分布, Japan Geoscience Union Meeting 2010, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉市.
- ・ Global distribution and transport of CO_2 in upper troposphere and lower stratosphere obtained by commercial aircraft observations, 11th Science Conference of the International Global Atmosphere Chemistry Project, 2010 年 7 月, カナダ, ハリファクス.
- ・ CO_2 distributions in the upper troposphere observed in the CONTRAIL project, and Recent Activities in the project, In-service Aircraft for a Global Observing system 2010 annual meeting, 2010 年 9 月, スイス, ジュネーブ.
- ・ 定期旅客便で観測された上部対流圏の広域 CO_2 分布と季節変動, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ 気象研究所鉄塔で観測された CO_2 濃度の高度別時間変動, 第 16 回大気化学討論会, 2010

年 11 月, 八王子.

柴田清孝

- ・ Global Ozone Signals Associated with Extreme NAM Events in the 1980-2004 Simulation of the MRI CCM, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
- ・ 化学-気候モデルを使った太陽変動の地球大気への影響評価について, CAWSES-II (Climate And Weather of the Sun-Earth System-II) キックオフシンポジウム, 2010 年 6 月, 京都.
- ・ Projection of the Ozone Quasi-Biennial Oscillation in the Tropical Stratosphere up to Year 2100 as Simulated with the Chemistry-Climate Model of Meteorological Research Institute, 12th Symposium of the International Commission on Atmospheric Chemistry and Global Pollution (CACGP) and 11th Science Conference of the International Global Atmosphere Chemistry (IGAC) Project, 2010 年 7 月, カナダ, ハリファックス.
- ・ Effect of sea surface temperature on the solar signal in the stratosphere and troposphere as revealed by chemistry-climate model simulations from 1960 to 2006, SCOSTEP (Scientific Committee on Solar Terrestrial Physics) Symposium 2010, 2010 年 7 月, ドイツ, ベルリン.
- ・ Effects of Quasi-Biennial Oscillation on the Northern Winter Extratropical Circulation, 38th COSPAR (Committee on Space Research) Scientific Assembly 2010, 2010 年 7 月, ドイツ, ブレーメン.
- ・ Effects of the greenhouse gas increase to the quasi-biennial oscillation in the tropical stratosphere up to year 2100 as simulated with the chemistry-climate model of Meteorological Research Institute, 10th EMS (European Meteorological Society) Annual Meeting, 2010 年 9 月, スイス, チューリッヒ.
- ・ Current status of MRI models for the CMIP5 simulation, SPARC DynVar Workshop 2, 2010 年 11 月, アメリカ, ボルダー.
- ・ Projection of future behavior of the quasi-biennial oscillation in the tropical stratosphere under the greenhouse gas increase, SPARC DynVar Workshop 2, 2010 年 11 月, アメリカ, ボルダー.
- ・ Middle atmosphere responses in the southern hemisphere to ENSO for a multi-model ensemble for twentieth-century simulation to year 2000, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.

小司禎教

- ・ 衛星測位の気象予測への応用. 第 4 回気象研究所・統計数理研究所共同ワークショップ, 2010 年 4 月, 立川.
- ・ 室戸沖 GPS 津波計を用いた天頂遅延量解析実験, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- ・ GPS 掩蔽法による大気計測と掩蔽法による大気計測と気象学・天気予報への利用, 特定非営利活動法人宇宙からの地球観測を考える会平成 22 年度特別講演会, 2010 年 6 月, 東京.
- ・ GPS 掩蔽法による大気環境層高度解析, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ GNSS 気象学と QZSS への期待, GPS/GNSS シンポジウム 2010, 2010 年 11 月, 東京.
- ・ GNSS 掩蔽法による大気計測と気象学・天気予報への利用, 第 54 回宇宙科学技術連合講演会, 2010 年 11 月, 静岡.
- ・ 衛星測位が気象学にもたらしたもの, セミナー「次世代衛星測位システムと防災」—異常気象による大規模災害を防ぐ—, 2010 年 12 月, 東京.

新藤永樹

- ・ Tropical Cyclone Genesis and Development Experiment with Three Different Cumulus Parameterization, Workshop on Global High-Resolution Cloud Modeling, 2010 年 6 月, アメリカ, フォートコリンズ.

新堀敏基

- ・ 2009 年桜島噴火に伴う量的降灰予測, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月,

- 千葉.
- ・ 航空路火山灰拡散モデルの拡張—2010 年エイヤフィヤトラヨークトル火山噴火への適用—, 日本火山学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 火山灰の輸送シミュレーションと航空路火山灰情報, 平成 22 年度東京大学地震研究所共同利用 (研究集会)「火山現象の数値計算研究」, 2010 年 12 月, 東京.
- 鈴木 修
- ・ IQ データを使った高解像化メソサイクロン検出アルゴリズム, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 竜巻とダウンバースト, 防災気象講演会, 2010 年 7 月, 館林.
 - ・ 胎内市の竜巻災害から考える, 防災気象講演会, 2011 年 1 月, 胎内.
- 清野直子
- ・ Urban Climate Research with a Mesoscale Model JMA-NHM, International Workshop on Urban Climate Projection for better Adaptation Plan, 2010 年 6 月, つくば.
 - ・ 東京における強雨事例のシミュレーション (2) —2010 年 7 月 5 日の事例解析—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 関山 剛
- ・ Dust aerosol analysis and prediction with 4D-EnKF data assimilation, EGU General Assembly 2010, 2010 年 5 月, オーストリア, ウィーン.
 - ・ 大気エアロゾルのデータ同化, 第 27 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ Aerosol Data Assimilation with Lidar Observations and Ensemble Kalman Filter, The Second GAW Aerosol Lidar Observation Network (GALION) Workshop, 2010 年 9 月, スイス, ジュネーブ.
 - ・ Dust analysis and prediction with ensemble-based data assimilation, 9th AeroCom Workshop, 2010 年 9 月, イギリス, オックスフォード.
 - ・ Overview – MRI/JMA - Asian Dust Simulation, Prediction, and Verification, The Second International Cooperative for Aerosol Prediction (ICAP) Workshop, 2010 年 10 月, イギリス, オックスフォード.
 - ・ Dust Aerosol Analysis and Prediction with Lidar Observations and Ensemble Kalman Filter, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 瀬古 弘
- ・ 非静力学モデルによる熱帯域の積雲対流の発生過程, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ アンサンブルと同化手法を用いた局地豪雨再現実験, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Data assimilation of side-looking radio occultation by observing system simulation experiment, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 数値モデルを用いた準天頂衛星による測位誤差の軽減の考察, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Ensemble experiments of Local Heavy Rainfall that occurred in Osaka, Japan on 5th September 2008, AOGS2010, 2010 年 7 月, インド, ハイデラバード.
 - ・ Generation mechanisms of convections in the tropical region -Role of gravity waves- AOGS2010, 2010 年 7 月, インド, ハイデラバード.
 - ・ Data assimilation experiments of radio occultation data using the JMA Meso-4dvar system -Impacts on the heavy rainfalls in Japan and the generation of typhoon-, OPAC2010, 2010 年 9 月, オーストリア, グラーツ.
 - ・ GPS Meteorology: Atmospheric studies using radio waves from GPS satellites, AP-RASC'10, 2010 年 9 月, 富山.
 - ・ Data assimilation experiments of the local intense rainfall using LETKF, 非静力学ワークショップ, 2010 年 9-10 月, 京都.
 - ・ Generation mechanisms of convections by gravity waves, 非静力学ワークショップ, 2010 年 9-10 月, 京都.

- ・ Mesoscale ensemble forecasts of strong wind caused by typhoon 0709, 非静力学ワークショップ, 2010 年 9-10 月, 京都.
- ・ 局地豪雨の同化実験 プロファイラーで観測した屈折率の鉛直勾配と GPS 水蒸気量の効果, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ 青森を通過した台風による強風のアンサンブル予報実験, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ Improvement of rainfall forecast by assimilations of ground - based GPS data and radio occultation data, International Symposium on GPS/GNSS 2010, 2010 年 10 月, 台湾, 台北.
- ・ A data assimilation experiment of PWV using the LETKF System - Intense rainfall event on 28 July 2008 - , International Symposium on GPS/GNSS 2010, 2010 年 10 月, 台湾, 台北.
- ・ Studies of GPS meteorology of Japan and expectation of QZSS, MultiGNSS, 2010 年 11 月, オーストラリア, メルボルン.
- 高薮 出
 - ・ 「温暖化影響評価のためのマルチモデルアンサンブルとダウンスケーリングの研究」 第 1 期研究の紹介, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ ダウンスケーリングプロジェクトにおけるデータの流れについて, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Downscaling of Climate Projections in Japan (Introducing S-5-3 project), JICA Seminar "Adaptation to Climate Change", 2010 年 10 月, つくば.
- 田尻拓也
 - ・ MRI 雲生成チェンバーによる雲物理実験 ダスト粒子～雲粒・氷晶発生過程(その 2), 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ MRI cloud chamber experiments on dust aerosol and cloud interactions, AMS 13th Conference on Cloud Physics, 2010 年 6 月, アメリカ, ポートランド.
 - ・ 吸湿性フレアーシーディングに関する MRI 雲生成チェンバー実験, 第 27 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ MRI 雲生成チェンバーによる雲物理実験フレアー法(その 2), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ MRI cloud chamber experiments: A laboratory testbed for evaluating the relation between hygroscopic seeding particles, its CCN activity and droplet growth, International Symposium on Weather Modification - Recent Progress in Precipitation Enhancement Research -, 2011 年 3 月, つくば.
- 田中泰宙
 - ・ 全球スケールで見た気候変動と黄砂の関係—全球モデルによる研究—, 平成 22 年度千葉大学 CReS 寄附研究部門公開シンポジウム—地球温暖化現象の解明・対策・適応への挑戦—, 2010 年 6 月, 千葉.
 - ・ ダストエアロゾル沈着ネットワークと数値シミュレーションの比較実験, 第 27 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ Development of an Aerosol Model in the Earth System Model of Meteorological Research Institute of Japan Meteorological Agency, 9th AeroCom workshop, 2010 年 9 月, イギリス, オックスフォード.
 - ・ 乾性・湿性別観測との比較による全球ダストモデルの改良, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 津口裕茂
 - ・ 集中豪雨事例の客観的な抽出方法について, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 東海豪雨の再現実験, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Case study of a heavy rainfall event in Amami Island on 20 October 2010, ICMCS-VIII, 2011 年 3 月, 名古屋.
- 辻野博之
 - ・ MRI-ESM1 用海洋単体モデルによる現在気候再現実験(1): 実験の概要とパフォーマンス, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.

- ・ A long-term hindcast of the Kuroshio using a high resolution GCM, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- ・ 全球一北西太平洋ネストモデルによる黒潮経年変動再現実験, 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月.
- 対馬弘晃
 - ・ 海底圧力・陸上 GPS 観測による近地津波予測, 日本地球惑星科学連合 2010 年度連合大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 海底圧力・GPS 波浪計データによる近地津波予測, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 海底津波観測による近地津波予測, 海底地殻変動と津波に関するシンポジウム, 2011 年 1 月, 東京.
- 坪井一寛
 - ・ 気象庁観測データにおける大気中メタン濃度の時間変動, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Observation of atmospheric radon-222 with a new measuring system at the WMO/GAW monitoring stations in Japan, The 2nd International Atmosphere Watch in Asia "Greenhouse Gases Monitoring activities", 2010 年 10 月, 韓国, 済州島.
 - ・ 気象庁 GAW 観測点における二酸化炭素濃度の長期変動, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 露木 義
 - ・ 気象学における 4 次元変分法データ同化, 第 4 回 EFD/CFD 融合ワークショップ, 2011 年 1 月, 東京.
- 出牛 真
 - ・ 21 世紀予測実験に基づいた成層圏における子午面循環の長期変動解析 (第二報), 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Role of the stratospheric ozone on the medium-range weather forecast: A case study of northern winter 2003-2004, SPARC DynVar Workshop 2, 2010 年 11 月, アメリカ, ボルダー.
- 徳野正己
 - ・ 衛星 3.8 μm 帯チャンネルによる積乱雲の特徴, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 衛星連続観測 3.8 μm 反射率による台風 (0815) の眼の壁雲の特徴, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 直江寛明
 - ・ 海塩粒子が酸性化に要する時間とライフタイムとの関係, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 熱帯 QBO が冬季中高緯度循環に与える影響, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Size dependency of sea-salt aerosol alkalinity titration by acid gases in the remote marine boundary layer, 第 27 回エアロゾル科学・技術検討討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ Asian aerosols observed on mountainous sites over central Japan, 2010 International Aerosol Conference, 2010 年 8 月, フィンランド, ヘルシンキ.
 - ・ アジア起源の鉱物ダスト粒子の長距離輸送と榛名山で観測されたエアロゾル個数濃度, 新学術領域「東アジアにおけるエアロゾルの植物・人間系へのインパクト」平成 22 年度第 1 回全体会議, 2010 年 9 月, 府中.
 - ・ 千畳敷・榛名・穂高・つくばで観測された 2010 年 3 月の黄砂現象, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Future change in the quasi-biennial oscillation influence on the northern polar vortex simulated with an MRI chemistry climate model, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Aerosol concentrations observed at Mt. Haruna, Japan, in relation to long-range transport of Asian mineral dust aerosols, American Meteorological Society Annual Meeting, 2011 年 1 月, アメリカ, シアトル.
- 永井智広
 - ・ ライダーで観測された成層圏のバックグラウンドエアロゾルの増加, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.

- ・ ライダーで観測された成層圏バックグラウンドエーロゾルの増加, 第28回レーザセンシングシンポジウム, 2010年9月, 大津.
- ・ CO₂鉛直分布測定用 1.6 μ m 帯 DIAL 受信部固体検出素子の性能評価, 第28回レーザセンシングシンポジウム, 2010年9月, 大津.
- ・ 二酸化炭素鉛直分布測定用 1.6 μ m 帯 DIAL 用固体検出素子の性能評価, 日本気象学会 2010年度秋季大会, 2010年10月, 京都.
- ・ CO₂鉛直分布測定用 1.6 μ m 帯 DIAL 受信部の開発Ⅱ —固体検出素子の性能評価—, 第36回リモートセンシングシンポジウム, 2010年11月, 横須賀
- ・ ニュージーランドローダーで観測された成層圏エーロゾルの増加について, 第8回環境研究シンポジウム, 2010年11月, 東京
- 仲江川敏之
 - ・ 気象庁気象研究所 大気-海洋結合モデル予報実験における台風発生位置の予測可能性, 日本気象学会 2010年度春季大会, 2010年5月, 東京都.
 - ・ Projection of the change in future weather extremes using super-high resolution atmospheric models, Technical Workshop to Develop the Regional Roadmap for Promoting Regional Cooperation on Disaster Risk Reduction and Climate Change Adaptation, 2010年7月, タイ, バンコク.
 - ・ 全球 1km 土地被覆データセットの選択による数値モデル土地被覆への影響, 水文・水資源学会 2010年研究発表会, 2010年9月, 東京.
 - ・ 全球大気モデルを用いた河川流量の潜在的季節予測可能性とその水平解像度依存性, 第55回水工学講演会, 2011年3月, 東京.
- 中里真久
 - ・ 統計力学に基づく竜巻強度分布の推定, 日本気象学会 2010年度春季大会, 2010年5月, 東京.
 - ・ Xバンド及びKaバンドレーダーによる雲微物理量導出法の比較, 日本気象学会 2010年度春季大会, 2010年5月, 東京.
 - ・ Nd:YAG レーザーを用いた差分吸収ライダーによる二酸化窒素の観測性能, 第28回レーザセンシングシンポジウム, 2010年9月, 大津.
 - ・ 孤立積乱雲の強度分布と最大鉛直速度, 日本気象学会 2010年度秋季大会, 2010年10月, 京都.
 - ・ Statistical Mechanics of Tornado Intensity Distributions, 25th Conference on Severe local Storms, 2010年10月, アメリカ, デンバー.
 - ・ 対流圏オゾンライダーとMRI-CCM2を用いた高濃度オゾン事例の解析, 第16回大気化学討論会, 2010年11月, 八王子.
- 中澤哲夫
 - ・ Toward further improvement of TC track forecasts during the ONR field campaign in 2010 over the western North Pacific using targeted observations, Impact of Typhoon on Ocean in the Pacific (ITOP) 2010 Workshop, 2010年4月, アメリカ, モントレー.
 - ・ Targeted observation for tropical cyclones during T-PARC 2008, AMS 29th Hurricane and Tropical Meteorology Conference, 2010年5月, アメリカ, ツーソン.
 - ・ Genesis potential estimation of high-impact weather by TIGGE ensemble data, AMS 29th Hurricane and Tropical Meteorology Conference, 2010年5月, アメリカ, ツーソン.
 - ・ TIGGE 全球アンサンブルデータによる顕著現象発生ポテンシャル予測, 日本気象学会 2010年度春季大会, 2010年5月, 東京都.
 - ・ Basis and operational application of typhoon ensemble forecasts, WMO Training Workshop on Tropical Cyclone Forecasting, 2010年5月, 中国, 上海.
 - ・ Predictability of high-impact weather using TIGGE ensemble data, The 3rd THORPEX-Asia Science Workshop, 2010年6月, 韓国, 済州島.
 - ・ アジアと日本でのTHORPEX関連研究 その変遷と展望, 東京大学国際沿岸海洋研究センター共同利用研究集会「台風の力学: 何が理解されていないのか?」, 2010年9月, 岩手県大槌.

- ・ 全球アンサンブルデータから顕著現象発生ポテンシャル予測は可能か, 東京大学国際沿岸海洋研究センター共同利用研究集会「台風の力学:何が理解されていないのか?」, 2010 年 9 月, 岩手県大槌.
- 中野英之 ・ MRI-ESM1 用海洋単体モデルによる現在気候再現実験 (3): 炭素循環モデルにおける黒潮続流域の人為起源 CO₂ 吸収, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
- 中村誠臣 ・ 2008 年 8 月 9 日に甲信地域で発生した不安定降水の NHM による再現実験, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- ・ Validation of Diurnal Variation of Summertime Precipitation in Kanto Region Simulated by a Nonhydrostatic Model (JMA-NHM), First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models, 2010 年 9 月, 京都.
- 庭野匡思 ・ 積雪変態・アルベドプロセス (SMAP) モデル, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- ・ 積雪変態・アルベドプロセスモデル (SMAP) における積雪変態過程の改良, 日本地球惑星科学連合 2010 年度合同大会, 2010 年 5 月, 千葉
- ・ Effects of snow impurities on snowpack structure in Sapporo, Japan assessed by Snow Metamorphism and Albedo Process (SMAP) model, International Symposium on Snow, Ice and Humanity in a Changing Climate, 2010 年 6 月, 札幌.
- ・ 十勝地方に適用した積雪変態・アルベドプロセス (SMAP) モデルの精度評価, 日本雪氷学会/日本雪工学会, 2010 年 9 月, 札幌
- ・ 不純物濃度の変化と気温上昇に対する積雪の応答, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ Analysis of snow feedbacks using Snow metamorphism and Albedo Process (SMAP) Model, 第 2 回国際北極研究シンポジウム, 2010 年 12 月, 東京.
- 丹羽洋介 ・ 長期インバース解析におけるシベリア航空機データの効果, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
- ・ Development of a global atmospheric transport model and its application for carbon cycle studies, The 2nd International Atmosphere Watch in Asia -Greenhouse Gases Monitoring activities-, 2010 年 10 月, 韓国, 済州島.
- ・ CONTRAIL-Transport Model Intercomparison Project, TransCom Meeting, 2010 年 12 月, アメリカ, バークレー.
- 萩野谷成徳 ・ チベット高原ナム湖における熱・水循環過程の研究 (2), 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- ・ Air.Lake Interaction Features Found in Heat and Water Exchanges over Nam Co on the Tibetan Plateau, The 2nd International Workshop on Energy and Water Cycle over the Tibetan Plateau and High-elevations, 2010 年 7 月, 中国, ラサ.
- 橋本明弘 ・ 山岳性降雪雲に関する雲解像モデルの予測特性, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- ・ Numerical Experiment Comparing the Efficacies of Dryice Pellets and Liquid Carbon Dioxide for Cloud Seeding Operation, 13th Conference on Cloud Physics of the AMS, 2010 年 6 月, アメリカ, ポートランド.
- ・ 詳細な雲・降水過程に基づく大気エアロゾル沈着モデルの開発, 第 27 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
- ・ Development of the microphysical trajectory model to simulate the aerosol/cloud particle evolution in upper tropospheric ice cloud, First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models, 2010 年 9 月, 京都.
- ・ 雲・降水過程を考慮した噴煙・降灰モデルの開発 (その 2) 霧島山新燃岳 2008 年 8 月 22 日噴火事例への適用, 日本火山学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- ・ 4-ICE バルク法微物理過程の開発, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.

- ・ 雲・降水過程を考慮した噴煙—降灰モデルの開発（その2） 霧島山新燃岳 2008 年 8 月 22 日噴火事例への適用, 平成 22 年度東京大学地震研究所共同利用（研究集会）「火山現象の数値計算研究」, 2010 年 12 月, 東京.
- 林 修吾
 - ・ Statistical verification of short range forecasts by NHM and WRF-ARW with 20 and 5 km resolution over Southeast Asia and Japan areas, First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models. 2010 年 9 月, 京都.
 - ・ 東南アジア域における短期予報の精度検証, 第 34 回メソ気象研究会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 雲解像モデルの物理量を用いた発雷予測手法の開発, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Predicting of lightning activity in Japan using mesoscale model output statistics, Fifth Conference on the Meteorological Applications of Lightning Data, 91th AMS Annual Meeting, 2011 年 1 月, アメリカ, シアトル.
- 林 豊
 - ・ Applying empirical relationship of tsunami height between offshore and coastal stations for real-time tsunami information, 3rd International Tsunami Field Symposium (3rd ITFS), 2010 年 4 月, 仙台.
 - ・ On real-time tsunami detectability of satellite altimetry: Case study with data during the Feb. 2010 Chile earthquake tsunami, 3rd International Tsunami Field Symposium (3rd ITFS), 2010 年 4 月, 仙台.
 - ・ 2010 年 2 月チリ中部地震津波の GPS 波浪計と検潮所での振幅比較, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 宇宙からのリアルタイム津波検出は可能か?—衛星海面高度計による 2010 年 2 月チリ中部地震津波の観測値を用いた検討, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 茨城県の津波の特徴, 平成 22 年度自主防災組織リーダー研修会, 2010 年 7 月, 茨城県東海村.
 - ・ Detection of the 2010 Chile earthquake tsunami from satellite altimetry, The 8th International Workshop on Remote Sensing for Disaster Management, 2010 年 9 月, 東京.
 - ・ Proposal of new procedures for improved tsunami forecast by applying coast-to-offshore tsunami ration, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 移動自乗平均津波振幅の簡易時間減衰モデルの設定, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島市.
 - ・ 津波減衰過程のトレンドとばらつきの性質の遠地津波予測への活用可能性, 第 57 回海岸工学講演会, 2010 年 11 月, 京都市.
 - ・ 海岸—沖合津波高比の経験則を適用した新しい津波予報手順案の紹介, 海底地殻変動と津波に関するシンポジウム, 2011 年 1 月, 東京.
- 原 昌弘
 - ・ ローパスフィルターを用いた全球 SV 法メソアンサンブル, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 全球 SV メソアンサンブルによる 2010 年梅雨期の予報実験, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 平田賢治
 - ・ Detailed bathymetric features of the outer-arc high off northwest Sumatra acquired during the KY0909 Leg1 survey, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 2004 年に発生したスマトラ北西沖巨大津波の発生メカニズムに関する第 5 仮説に対する地質学的な証拠について, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 潮岬南方沖南海トラフ軸周辺のフィリピン海プレート 内部の微小地震活動の海底地震観測, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ Investigation of submarine active faults off northwest of Sumatra - present and past

- ・, International Workshop on Multi-disciplinary Hazard Reduction from Earthquakes and Volcanoes in Indonesia, 2010 年 11 月, 神戸.
- ・ Geological evidences of the fifth model for the tsunami generation in ocean floor off northwest Sumatra during the 2004 Sumatra-Andaman earthquake, AGU Fall meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- ・ Preliminary results of KH-10-5 Leg.1 high-resolution geological survey off northwest Sumatra, JAMSTEC Blue Earth'11 symposium, 2011 年 3 月, 東京.
- ・ KH-10-5 Leg.1 high-resolution geological survey off northwest Sumatra, the International workshop on Subduction processes, tectonics, and related topics along the Sumatra-Java arc, 2011 年 3 月, 柏.
- ・ Fifth model for the huge tsunami generation off northwest Sumatra during the 2004 Sumatra-Andaman earthquake: Introduction of Japanese offshore surveys during KY09-09 and KH-10-5, the International workshop on Subduction processes, tectonics, and related topics along the Sumatra-Java arc, 2011 年 3 月, 柏.
- ・ Geological evidences of the fifth model for the tsunami generation in ocean floor off northwest Sumatra during the 2004 Sumatra-Andaman earthquake – results from the KH09-09 cruise, the International workshop on Subduction processes, tectonics, and related topics along the Sumatra-Java arc, 2011 年 3 月, 柏.
- 平原幹俊
 - ・ MRI-ESM1 用海洋単体モデルによる現在気候再現実験 (5): 南大洋深層循環の変動, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
 - ・ Ocean Model, Workshop on JMA Global Wave and Ocean Circulation. Malaysian Meteorological Department, 2010 年 9 月, マレーシア, クアラルンプール.
 - ・ 海洋モデルを用いた歴史実験に見られる南大洋深層循環の変動, 海洋大循環の力学とくに中深層循環におよぼす海岸、海底地形の影響に関する研究集会, 2010 年 11 月, 福岡.
 - ・ 海洋モデルを用いた経年変動実験に見られる南大洋深層循環の変動, 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月.
- 弘瀬冬樹
 - ・ 東海地域の割れ残り長期スローイベントとの関係, 第 186 回地震予知連絡会重点検討課題「プレート境界の固着とすべりのシミュレーションーモニタリングによって何が検知されると期待されるのか?」, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 東海地域の割れ残り長期スローイベントとの関係, 第 2 回東海地震の予知手法等に関する勉強会, 2010 年 7 月, 東京.
 - ・ G-R 則および改良 G-R 則を用いた地震発生予測モデルーMGR モデルー, 第 187 回地震予知連絡会重点検討課題「地震活動について」, 2010 年 8 月, 東京.
 - ・ Use of Seismic Velocity Information for Predictive Earthquake Occurrence Rate, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 東海地域および豊後水道の長期的スロースリップイベントの再現, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ Seismicity Model Modified by the Information of Seismic Velocity Structure, Workshop on "Earthquake Forecast Systems Based on Seismicity of Japan: Toward Constructing Base-line Models of Earthquake Forecasting", 2010 年 11 月, 宇治.
- 福井敬一
 - ・ 火山用地殻活動解析支援ソフトウェアの開発 (3) —EDM, InSAR データ解析機能、簡易版動的解析機能の組み込み—, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ ALOS/PRISM による日本国内活火山における噴気活動評価, 平成 22 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会「地震・火山活動と関連する災害のリモートセンシング」(課題番号 2010-W-07), 2010 年 9 月, 東京.
 - ・ 種子島気象レーダーによる桜島噴火噴煙の検知率, 日本火山学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 藤井陽介
 - ・ 結合モデルと海洋観測データの結合 (準結合同化) による気候変動の再現, 日本気象学会 2010 春季大会, 2010 年 5 月, 東京.

- ・ The ocean monitoring and orecasting service, 台湾国立中山大学特別講義, 2010 年 5 月, 台湾, 高雄.
- ・ 気象庁現業海洋同化システム海洋システム, 第 14 回データ同化夏の学校, 2010 年 8 月, むつ.
- ・ 曳航式 CTD で観測された南太平洋熱帯水とバリエーションレイヤー, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
- ・ Coupled Ocean and Atmosphere Analysis by Assimilating Ocean Observation Data to a Coupled Model, Workshop on Decadal Variability, Predictability, and Prediction, 2010 年 9 月, アメリカ, ボルダー.
- ・ Coupled model simulation by constraining ocean fields with ocean data through the JMA operational ocean data assimilation system, International workshop on Development of atmosphere-ocean coupled models towards improvement of long range forecast, 2010 年 12 月, 東京.
- 藤部文昭
 - ・ 都市気温の長期変化率の風速・降水への依存性, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Dependence of long-term temperature trends on wind and precipitation at urban stations in Japan, Ninth Symposium on the urban Environment, 2010 年 8 月, アメリカ, コロラド州キーストーン.
 - ・ 区内観測による日降水量データのデジタル化と降水長期変動解析への利用, 日本地理学会 2010 年秋季学術大会, 2010 年 10 月, 名古屋.
 - ・ 極値分布関数の適合度評価に関する検討, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 保坂征宏
 - ・ 陸面モデル HAL への積雪変態・アルベドプロセスモデル SMAP の導入, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- 星野俊介
 - ・ TIGGE 台風アンサンブル予測閲覧サイトの紹介, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 干場充之
 - ・ 兵庫県南部地震から 15 年: 教訓、その後の研究の進展そして展望—趣旨説明に代えて—, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 経過時間に応じたマグニチュード補正の検討, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉
 - ・ Earthquake Early Warning of JMA -Review of recent 2 years and approaches for improving rapidity and accuracy-, 2010 Western pacific Geophysical Meeting, 2010 年 6 月, 台湾, 台北.
 - ・ 海溝型 M8 クラスの地震の際の緊急地震速報, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
 - ・ 経過時間に応じた P 波マグニチュード推定の補正—緊急地震速報への応用—, 第 13 回日本地震工学シンポジウム, 2010 年 11 月, つくば.
 - ・ 海溝型 M8 クラスの地震の際の緊急地震速報, 東京大学地震研究所研究集会「揺れる直前の地震動予測: さらなる迅速化と精度の向上」, 2010 年 12 月, 東京.
 - ・ 不均質構造中の高周波地震波の伝播, 第 60 回理論応用力学講演会, 2011 年 3 月, 東京.
- 前田憲二
 - ・ 静岡県西部の群発微小地震活動と間隙水圧との関連, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Probability Estimation of Large Earthquakes by Possible Foreshocks anlong the Japan Trench, Workshop on "Earhquake Forecast Systems Based on Seismicity of Japn: Toward Constructing Base-line Models of Earthquake Forecasting", 2010 年 11 月, 宇治.
- 眞木貴史
 - ・ アンサンブルカルマンフィルタを用いた炭素循環解析システムの構築, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 炭素循環解析への GOSAT 観測データの利用について, 日本気象学会 2010 年度秋季大会,

- 2010 年 10 月, 京都.
- ・ トップダウンアプローチを用いた炭素循環解析研究について, 平成 22 年度気象庁施設等機関研究報告会, 2011 年 2 月, 東京.
 - ・ 数値モデルを用いた地球環境解析, 平成 22 年度気象研究所研究成果発表会, 2011 年 3 月, つくば.
- 益子 渉
- ・ 気象庁 NHM を用いた台風の数値シミュレーション, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 2009 年台風第 18 号の接近に伴い関東平野で発生した竜巻—数値シミュレーションによって再現された下層渦の解析—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 台風に伴う竜巻の数値シミュレーション —T0613 号に伴う延岡竜巻と T0918 号に伴う土浦・竜ヶ崎竜巻との比較—, 台風などの強風の予測と災害発生機構の解明および低減策に関する研究集会, 2011 年 1 月, 京都.
 - ・ 台風に伴う竜巻等突風の発生機構—2006 年台風第 13 号に伴い宮崎県延岡市で発生した竜巻の数値シミュレーション—, 平成 22 年度気象研究所研究成果発表会, 2011 年 2 月, つくば.
- 増田一彦
- ・ ボロノイ型粒子モデルを用いた氷晶雲特性のリトリバーバル, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ IASI の最適チャンネル選択におけるアポダイゼーションの影響, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 衛星データの利用技術に関する研究, 平成 22 年度気象研究所研究成果発表会, 2011 年 3 月, つくば.
- 松枝秀和
- ・ 上部対流圏における CO₂ の南北勾配の長期変化, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Introduction and recent topics for atmospheric carbon cycle researches in Meteorological Research Institute(MRI), Japan, The 2nd International Atmosphere Watch in Asia -Greenhouse Gases Monitoring activities-, 2010 年 10 月, 韓国, 済州島.
 - ・ 上部対流圏における二酸化炭素濃度の南北分布の年々変動, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 真野裕三
- ・ 衛星サウンダーによる陸上の水蒸気分布と水蒸気ライダー観測値との比較, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 馬淵和雄
- ・ Biosphere-Atmosphere Interaction Model (BAIM), The APN-MAIRS joint workshop on Asian Dryland Land Surface Process Model Intercomparison Project (ADMIP), 2010 年 7 月, 中国, 北京.
 - ・ Land surface · atmosphere full couple simulation using GCM and a case study of annual changes, Joint PI workshop of global environmental observation mission, 2010 年 12 月, 東京.
- 三上正男
- ・ JADE TOP 期間中の休耕農地における飛砂フラックスデータの作成, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ ダストの発生・輸送・沈着過程の観測・解析モデリング, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 水田 亮
- ・ Global warming experiments using an improved 20-km AGCM, Workshop on Global High-Resolution Cloud Modeling, 2010 年 6 月, アメリカ, フォートコリンズ.
 - ・ 改良された 20km 全球大気モデルによる現在気候・将来気候実験, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Future Change in Extratropical Cyclones Associated with Change in the Upper Troposphere, The Second International Symposium on the Arctic Research (ISAR-2), 2010 年 12 月, 東京.
 - ・ Climate experiments using an improved 20-km-mesh MRI-AGCM, 3rd International Workshop on Global Change Projection: Modeling, Intercomparison, and Impact

- Assessment jointly with 4th International Workshop on KAKUSHIN Program, 2011 年 3 月, つくば.
- 緑川 貴
- ・ Long-term trends of surface ocean acidification in the Southern Ocean, International Polar Year Oslo Science Conference 2010, 2010 年 6 月, ノルウェー, オスロ.
 - ・ 南大洋における海洋酸性化の長期的トレンド, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
 - ・ 南大洋で進行する海洋酸性化, 第 1 回極域科学シンポジウム, 2010 年 12 月, 立川.
 - ・ Decreasing pH trend estimated from 25-yr time series of carbonate parameters observed in the western North Pacific, IPCC 海洋酸性化専門家会合プレワークショップ イベント, 2011 年 1 月, 名護.
 - ・ Ocean acidification progressing in Southern Ocean, IPCC 海洋酸性化専門家会合プレワークショップ イベント, 2011 年 1 月, 名護.
 - ・ 北太平洋西部における海面 CO₂ 分圧の変化傾向, 2011 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 2011 年 3 月.
- 村上茂教
- ・ 氷期気候系における局所エネルギー収支とエネルギー流速, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 氷期気候系における局所エネルギー収支, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ Atmospheric Energetics in Glacial Climate, 2010 PAGES Regional Workshop in Japan, 2010 年 6 月, 名古屋.
 - ・ 氷期気候系における局所エネルギー収支—その季節性—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 氷期気候系における局所エネルギー相互作用, 第 33 回極域気水圏シンポジウム, 2010 年 12 月, 立川.
 - ・ Atmospheric local energetics in mid-Holocene and LGM climates, PMIP3 Kyoto Workshop, 2010 年 12 月, 京都.
- 村上正隆
- ・ 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性 (その 3), 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ Vertical profiles of CCN concentrations and microphysical structures of shallow warm clouds in western Japan, AMS 13th Conference on Cloud Physics, 2010 年 6 月, アメリカ, ポートランド.
 - ・ 人工降雨・降雪研究の最前線, エコイノベーションとエコビジネスに関する研究会, 2010 年 8 月, 東京.
 - ・ 暖候期高知上空における大気エアロゾルの CCN 特性, 第 27 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2010 年 8 月, 名古屋.
 - ・ 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性 (その 4), 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation (JCSEPA) -- Results from wintertime and summertime weather modification programs --, The 4th International Workshop on Weather Modification, 2010 年 10 月, 韓国, テグ.
 - ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation (JCSEPA)-New approaches and some results from wintertime and summertime weather modification program, AMS 18th Conference on Planned and Inadvertent Weather Modification, 2011 年 1 月, アメリカ, シアトル.
 - ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation (JCSEPA) -- New approaches and some results from wintertime and summertime weather modification program --, International Symposium on Weather Modification -- Recent Progress in Precipitation Enhancement Research --, 2011 年 3 月, つくば.
 - ・ 四国における人工降雨実験観測, 第 4 回公開シンポジウム (高松) 変わりゆく気候と水

- 資源—最新の人工降雨研究から観えてきたこと—, 2011 年 3 月, 高松.
- 村崎万代
- ・ 高解像度海洋モデル SST による日本域の気候シミュレーション, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
- 村田昭彦
- ・ 高解像度非静力学モデルによる台風 0814 号の発生過程の解析, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 高解像度日本域気候モデルによる気温の再現性と将来予測, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Future changes in summertime temperature extremes over Japan projected by a high-resolution regional climate model, High Resolution Modeling of Climate Change over Asia, APN Workshop of Building Asian Climate Change Scenarios by Multi-Regional Climate Models Ensemble, 2011 年 2 月, オーストラリア, メルボルン.
- 毛利英明
- ・ 乱流速度場における大スケール変動の統計則, 日本物理学会 2010 年秋季大会, 2010 年 9 月, 堺.
 - ・ 乱流速度場における大スケール変動の統計熱力学形式による記述, 乱流研究 次の 10 年: 乱流の動的構造の理解へ向けて, 2011 年 1 月, 京都.
- 安田珠幾
- ・ Interdecadal variability and rising trend of sea level along the Japanese coast, IPCC Workshop on Sea Level Rise and Ice Sheet Instabilities, 2010 年 6 月, マレーシア, クアラルンプール.
 - ・ MRI-ESM1 用海洋単体モデルによる現在気候再現実験 (2): 日本沿岸水位の数十年規模変動, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
 - ・ 日本沿岸平均水位変動とトレンド—CMIP 3 マルチモデルの再現性と将来予測—, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ Aie-sea interaction over the Indian Ocean after El Nino in JMA/MRI-CGCM seasonal forecast experiment, International Workshop on "Development of Atmosphere-ocean Coupled Models towards Improvement of Long-range Weather Forecast", 2010 年 12 月, 東京.
 - ・ Interdecadal variability and rising trend of sea level along the Japanese coast, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 山内 洋
- ・ 2009 年 10 月 8 日に土浦市で発生した竜巻の親雲の特徴, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ C バンド固体素子二重偏波レーダーによる降水強度推定の検証, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 山口宗彦
- ・ 台風渦中で成長する特異ベクトルの構造とその成長メカニズム, 日本気象学会 THORP EX 研究連絡会第 4 回研究集会, 2010 年 9 月, 岩手県大槌.
 - ・ Singular vectors for tropical cyclone-like vortices in a nondivergent barotropic framework, First International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models, 2010 年 9 月, 京都.
 - ・ 台風渦中で成長する特異ベクトルの構造とその成長メカニズム, 日本気象学会秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 山崎明宏
- ・ The analysis of Skyradiometer observation data by using SKYRAD.PACK and MRI-MLM, The 16th CERE International Symposium in Okinawa, 2010 年 10 月, 名護.
- 山里 平
- ・ 日本の近年の火山活動に伴う地殻変動の特徴とその評価, 北太平洋地域地震火山噴火防災のための研究推進に関する国際ワークショップ, 2010 年 5 月, 札幌.
 - ・ 近年の様々な火山地殻変動—異常未経験火山における活動評価に向けて (2)—, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 2010 年新燃岳の噴火活動について, 日本火山学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 桜島火山の C 型微動に伴う超低周波音 (2), 日本火山学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 霧島・新燃岳の水蒸気爆発に伴う空気振動, 日本火山学会 2010 年秋季大会, 2010 年 10

- 月, 京都.
- 山田芳則
- ・ 激しい気象現象をもたらした積乱雲の内部構造の特徴, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 2010 年 7 月 5 日東京・板橋区内に豪雨をもたらした積乱雲の構造, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 北海道西岸带状雲の形成機構に関する数値実験, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 山中吾郎
- ・ MRI-ESM1 用海洋単体モデルによる現在気候再現実験 (4): 太平洋亜熱帯セルの長期変動, 2010 年度日本海洋学会秋季大会, 2010 年 9 月, 網走.
 - ・ Impact of effective ocean optical properties on Pacific subtropical cell and its mechanism for interdecadal variability, AGU Fall Meeting 2010, 2010 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 吉川澄夫
- ・ 地震活動静穏化の「局所的滑り説」の定量化の試み, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 大地震前の地震活動活発化と静穏化出現の空間的特徴, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
- 吉田康宏
- ・ 森町アクロス送信信号から求めた伝達関数の時間変化, 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 2010 年 5 月, 千葉.
 - ・ 気象庁歪計を用いた震央位置の推定, 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 広島.
- 吉村 純
- ・ Tropical cyclone climatology and its changes in a 20C-21C simulation by a global atmospheric model, The Fifth Workshop of the CLIVAR international Climate of the Twentieth century project (C20C), 2010 年 10 月, 中国, 北京.
 - ・ 高解像度全球大気モデルの長期積分における熱帯低気圧, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 和田章義
- ・ 台風 Hai-Tang (2005) の強度予測に対する波浪-海洋相互作用の役割, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 東太平洋と北西太平洋における熱帯低気圧強度と表層海洋貯熱量の関係の違いについて, 日本気象学会 2010 年度春季大会, 2010 年 5 月, 東京.
 - ・ 台風 Hai-Tang (2005) 強度予測に対する地表面過程の影響, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
 - ・ 台風 Hai-Tang (2005) 通過時の CO₂ フラックスと pH の変化, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.